

## 浮遊粒子状物質の測定結果(平成17年度)

浮遊粒子状物質は、大気中に浮遊する粒子状物質のうち粒径が  $10\mu\text{m}$  ( $1\mu\text{m}$  は、1,000 分の  $1\text{mm}$ ) 以下のもので、大気中に比較的長期間滞留し、その発生源としては物の燃焼、粉碎、土砂の巻き上げなどがありますが、近年では、ディーゼル自動車からの黒煙による影響が大きな原因と考えられます。

平成 17 年度に、浮遊粒子状物質について 21 測定局(自動車排出ガス測定局4局を含む。)で測定した結果は、下表のとおりであり、大垣赤坂測定局の  $0.045\text{mg}/\text{m}^3$  が最も高く、乗鞍測定局の  $0.007\text{mg}/\text{m}^3$  で最も低くなっています。

すべての測定局で環境基準を達成できました。

平成17年度浮遊粒子状物質測定結果

地域	測定局名	有効測定日数(日)	測定時間(時間)	年平均値( $\text{mg}/\text{m}^3$ )	1時間値が $0.20\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた時間数とその割合		日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた日数とその割合		1時間値の最高値( $\text{mg}/\text{m}^3$ )	日平均値の2%除外値( $\text{mg}/\text{m}^3$ )	日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた日が2日以上連続したことの有無	長期的評価の適否	平成16年度	
					時間	%	日	%					年平均値( $\text{mg}/\text{m}^3$ )	長期的評価の適否
岐阜	岐阜中央	359	8613	0.022	0	0.0	0	0.0	0.144	0.058	無	○	0.019	○
	岐阜南部	349	8361	0.023	0	0.0	0	0.0	0.178	0.055	無	○	0.024	○
	岐阜北部	365	8708	0.022	0	0.0	0	0.0	0.181	0.063	無	○	0.020	○
	各務原	365	8703	0.028	0	0.0	0	0.0	0.188	0.070	無	○	0.026	○

	羽島	320	7702	0.025	0	0.0	0	0.0	0.148	0.059	無	○	0.023	○
	平均	/	/	0.024	/	/	/	/	/	/	/	/	0.022	/
西濃	大垣中央	365	8719	0.027	0	0.0	0	0.0	0.122	0.058	無	○	0.026	○
	大垣南部	325	7792	0.024	1	0.0	0	0.0	0.214	0.056	無	○	0.023	○
	大垣西部	61	1463	0.013	0	0.0	0	0.0	0.109	0.048	無	—	0.024	○
	大垣赤坂	230	5614	0.045	0	0.0	0	0.0	0.167	0.084	無	—	0.038	○
	平均	/	/	0.027	/	/	/	/	/	/	/	/	0.028	/
	美濃加茂	323	7747	0.019	0	0.0	0	0.0	0.175	0.049	無	○	0.019	○
東濃	土岐	292	7029	0.027	1	0.0	0	0.0	0.218	0.064	無	○	0.029	○
	瑞浪	365	8714	0.023	0	0.0	0	0.0	0.138	0.058	無	○	0.023	○
	笠原	301	7251	0.026	0	0.0	0	0.0	0.199	0.072	無	○	0.024	○
	中津川	361	8649	0.023	0	0.0	0	0.0	0.142	0.055	無	○	0.022	○
	中津川柳	362	8690	0.023	1	0.0	0	0.0	0.284	0.051	無	○	0.025	○

	平均	/	/	0.024	/	/	/	/	/	/	/	/	0.025	/
飛驒	高山	354	8486	0.020	0	0.0	0	0.0	0.094	0.046	無	○	0.019	○
	乗鞍	349	8384	0.007	2	0.0	0	0.0	0.278	0.030	無	非適用	0.012	/
	平均	/	/	0.014	/	/	/	/	/	/	/	/	0.016	/
県平均	/	/	0.023	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0.023	/
岐阜 明德 自排	357	8613	0.024	0	0.0	0	0.0	0.183	0.053	無	○	0.026	○	
大垣 自排	364	8731	0.033	0	0.0	0	0.0	0.155	0.070	無	○	0.032	○	
可児 自排	365	8730	0.027	0	0.0	0	0.0	0.150	0.060	無	○	0.026	○	
土岐 自排	358	8601	0.034	0	0.0	0	0.0	0.124	0.069	無	○	0.034	○	

備考)

1 県地球環境課調べ

2 環境基準の長期的評価に適合しているとは、測定時間が年間 6,000 時間以上あり、日平均値が  $0.10\text{mg}/\text{m}^3$  を超えた日が2日以上連続せず、かつ、日平均値が  $0.10\text{mg}/\text{m}^3$  を超えた日数が年間を通じて2%以下であることを示す。

3 「長期的評価の適否」欄の「-」は、年間の測定時間が 6,000 時間に満たないことを示す。

○過去 10 年間の経年変化

浮遊粒子状物質の年平均値の経年変化

